

## 令和7年度 第2回 名取市地域ケア推進会議 概要報告書

<日 時> 令和8年3月25日(水) 午後6時30分から午後8時00分

<会 場> 名取市文化会館 小ホール

<出席者>

委員：溝井会長、嚮副会長、久保田委員、大友委員、大内委員、遠藤委員、菊地委員、洞口委員、佐藤(智)委員、佐藤(和)委員

地域包括支援センター：東包括：豊田所長、南包括：宮地所長、西包括：桃野所長、中部包括：村上所長

オブザーバー：名取市医療・介護連携支援センター 高橋相談員、  
名取市認知症初期集中支援チーム 尾形チーム員

事務局：中山健康福祉部長、安齋主幹兼係長、吉田技術主査、大竹保健師、佐藤  
傍聴者：なし

<内 容>

### 1 開 会

### 2 あいさつ 溝井会長

こんばんは。委員の皆様、お忙しいところ、お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。今年度2回目、また年度末ということで各地域包括支援センターで行われた地域ケア会議について振り返り、第1層・第2層協議体について事務局から報告いただく予定となっております。よろしくお願いたします。

### 3 内 容

- (1) 地域ケア会議の実施状況報告 資料1  
(各地域包括支援センター所長より説明)

#### 【名取東地域包括支援センター】

地域ケア会議3回、第2層協議体1回開催。圏域内で地域ごとに設定したテーマについて話をしている。

- 下増田地区：事例の中から地区にいそうな人を一人選んでグループワークを行った。  
地域に必要なとされる社会資源について具体的に意見交換できた。
- 増田地区：地域防災・つながりづくりに向けた意見交換を行った。  
なとりコインやIT化など、時代に順応したアイデアも挙がった。  
出前講座の依頼や他地区の情報交換にもつなげることができた。
- 閑上地区：地域づくりの支援が終了し、通いの場・認知症カフェを始めとするコミュニティの必要性が話し合われた。普段から交流できる場、世代を超えて、転入者も含めて気軽に集える場を望んでいる。  
閑上西と閑上中央地区で協議体を構築する。具体的には来年度は地域課題に応じた議題で開催していきたい。

#### 【名取南地域包括支援センター】

年間4回開催

- 名取が丘地区：地域のできる防犯対策  
グループワークを通して、お互いに声をかけ合い相談できる地域づくりが犯罪抑止に大切なことを再確認できた。
- 名取が丘地区：地域のできる消費者被害対策

地域でできる取組について確認できた。

- 植松地区 : 認知症になっても自分らしくいきいきと暮らすことができるまちを目指して認知症の基礎知識や認知症の方への対応を学び、どんな地域になれば認知症の方も安心して暮らすことができるのかを確認できた。
- 飯野坂地区 : 安心して生活ができる地域を目指して「見守りあい」「つながりあい」「支えあい」「活かしあい」。これからの地域でのつながりや社会参加が地域で安心して生活を継続するために大切なことについて確認できた。来年度は協議体として取り組んでいきたい。

#### 【名取西地域包括支援センター】

年間7回開催

- 高館地区 : 地域課題として、高齢化が進んでいる地区の割に相談件数が伸びていない。重度になってから相談が入る。コロナ禍以降行事が減っている、情報交換の機会が減っている。会議の中で小さい単位でできた方が良いとの意見があり、吉田第一区で取組を検討した。情報共有の場がコロナ禍でなかった。介護予防の企画に絡めて、集まりを検討している。
- 那智が丘地区 : 3年間、避難行動要支援者同意登録名簿について行っている。障がいのある方の状況について関係者で共有することができ、関係者の顔の見える関係づくりができた。
- 相互台地区 : 認知症の普及啓発が他の地区よりできていない。今後の取組についての意見交換を行い、ネットワーク構築を図ることができた。まだまだ地域包括支援センターの周知がされていないので、包括が認知症の相談窓口であることを周知し、早期発見、早期相談につながるような仕組みづくりを検討していく。
- その他 : 民生委員の持っている情報を区長に共有できない状況がある。求められていることと制度がずれている。個人情報への壁がある。  
今回開催には至らなかったが、ゆりが丘地区で見守り合いやサロンなど横のつながりがあり、地域づくりの情報共有の場として、可能であればまちづくり会議（担当：都市計画課）と一緒に動いていきたい。

#### 【中部地域包括支援センター】

増田西地区で年間2回、愛島地区で年間2回開催

- 増田西地区 : 誰ひとり取り残さない社会へ～8050問題を知り、みんなで考える～  
どのように声がけするか、お互いに考えることができた。地域で声をかけ合う、地域の行事に誘ってみる、相談先を伝える等地域でできる支援について理解を深めることができた。増田西地区においては課題を探りながら実施していきたい。
- 愛島地区 : 支え合う地域づくり～みんなが楽しく参加できる場～  
地域の課題を把握していくことから始めていく。活発に活動している方がいるので、住民主体による地域づくりの協議体の形成につながるよう支援していく。

議長：委員のみなさまから今の報告に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委員：なし

- (2) 第1層・第2層協議体について 資料2  
(事務局より説明)

議長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委員：なし

議長：特にご意見やご質問がないようなので、委員のみなさま1人ずつ感想等をお願いします。

委員：居宅でケアマネをしている。高齢者が通いの場に行けないのは体力低下もあるが、移

動の足がないこと。高いところに住んでいる高齢者のハードルとなっているのはアクセスの問題。免許を返納しとたんに受診や買いもの、通いの場に行けなくなる。プライバシーが気になって認知症のことを周囲に言えない。地域包括支援センターが認知症の相談機関ということについてわからない。子どもたち世代が共働き、核家族、独居生活、同居していない人が増えている、身元保証の問題等々。近隣住民や民生委員が早めに気づいて支援ができればよい。

委員：どの地域ケア会議も地域の課題にそった会議をしている。事例を提示しイメージしやすくしたり、より意見を出しやすい雰囲気づくりをしている。相互台地区は認知症の普及啓発がこれからということであるが、移り住んでこれから高齢者が増えてくる地区なので、若いうちから繰り返し啓発していく必要がある。

委員：認知症の人が全体的に多くなっている。もの忘れが多少出てきて、介護度が1・2という方が結構いるが、なかなか解決できていない。  
どうしても固定してしまうので、通いの場の窓口を広く、だれでも参加できるようにしてほしい。  
地域ケア会議や協議体は課題と目標を絞ってやるといい。

委員：地域包括支援センターと関係を築き、情報共有して対応できている。しかし認知症の方が徘徊し、戻してもすぐに行方不明、また保護になる方もいる。なかなかその後の支援につないでいくことができていない。その後の生活をうまく機能させていきたい。精神障害者で家庭を壊している、親も手をつけられない、どこにも助けを求められない、強制的に入院させることもできないという方もいる。  
何かしらケアをして、地域の見守りの中で互いに協働してうまくやっていきたい。

委員：とても勉強になった。高館地区は高齢者数の割には相談件数が少ないなどよく見えていると思う。  
東包括で居場所づくりでグループワークをして、地域で住み続けていくためにはというテーマでどのような意見が出たのか。

所長：3事例を通して、どのようなつながりがあるとよいか検討した。家族と同居している世帯は多いが、若者は日中仕事でいないので、日中高齢者のみ世帯が多く、普段からのつながりを大切にしていく。近隣地区と協働で協議体の構築を目指していく。

委員：そらいろカフェ（認知症カフェ）を開催している。入所者は施設外の方とはほぼ関わりがない。認知症カフェが外に出る第一歩になっている。施設にいても地域との生活、地域のみんなど離れずにつながっていけるようになればいい。

委員：2年間重ねることでより具体的に見えてきている。スライドにあった「上流投資の考え方」の下流の部分を担当している。垣根を越えて、中流の部分に関わることを考えて行かなければならない。

委員：8050問題の世帯は何組かいる。地域包括支援センターは業務も多岐にわたり、仕事量も多く、なかなか大変だなど思う。人数的には足りているのかと心配になった。

委員：先日、大きな火災があつて、これも地域課題になってくるのではと思った。古い住宅の密着地、高齢の方が原因とも聞いている。第1層・第2層協議体の立て付けについては理解した。第1層の役割について、自治体レベルでどうとらえるかが難しい。差し戻しする協議体にはなつてはいけない。どのような構成メンバーにするのかも大切になる。メンバーの中に議員が入るのはありなのか。市の政策につながりやすくなるのではないかな。

委員：第1層・第2層協議体については、ある程度理解できた。地域ケア会議と協議体の違いはなにか。

事務局：地域ケア会議は住民の思い・希望・意見を聞く場、地域課題を抽出する場。協議体は住民の思い・希望・意見からの地域課題を解決に向けて実践する場。  
まずは小さな課題、解決できそうな課題からやっっていこうと思っている。また次もがんばろうと思えるようにあまり無理なくやっしていきたい。

委員：その地域だけでは解決できない問題となれば、はじめから第1層協議体で実施することもありなのか。地域包括支援センターは多岐にわたることを少ない人員でやっっていくのは大変かと思うがやっっていくしかない。  
地域ケア推進会議では、これまでの地域ケア会議でこういうことが出て、その地域課題がどう動いたのか、総まとめとしてやっってもいいのではないか。

#### 4 その他

司会：それでは、「その他」に移ります。委員のみなさまから何かお伝えしたいことはありますでしょうか。

委員：特になし。

司会：事務局から令和8年度名取市地域ケア推進会議の体制についてご報告申し上げます。

事務局：名取市地域ケア推進会議では、これまで地域ケア会議に関すること、在宅医療と介護連携の推進に関すること、および認知症施策の推進に関することについてご意見をいただきました。来年度から、これらに加え、生活支援体制整備事業に関することを会議の検討事項として追加することとなりましたので、ここでご報告させていただきます。

第1回、そして本日の推進会議でも生活支援体制整備事業についてご説明をさせていただきましたが、地域課題の解決や新たな支え合い体制の創出に向けた具体的な取り組みとして、令和8年度から協議体の設置を行います。それに伴い、協議体の活動状況等を報告し、検討する場を地域ケア推進会議と位置づけたいと考えております。また、オブザーバーとして、第1層生活支援コーディネーターに会議の出席を求めたいと考えております。

協議体設置要綱の制定及び地域ケア推進会議設置要綱の改正は現在手続きを進めており、昨日（3/24）、庁内の法令審査部会が終了したため、令和8年4月1日から施行となる予定です。

- 認知症ひとり歩き高齢者「無事かえる」事業 QRコード
- 春まつりに「介護予防事業」出展
- 公民館と「介護予防事業」協働事業

部長よりお礼のあいさつ

#### 5 閉会のあいさつ 轡副会長